

がん細胞培養（CTOS 法）を用いたがんの診断・治療に関する研究

補則

・利益相反について

本研究は科研費、およびAMED 補助金により実施します。また、本研究は、特定の企業からの資金提供を受けておりません。臨床研究の実施にあたり、利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。